



【TOPICS】

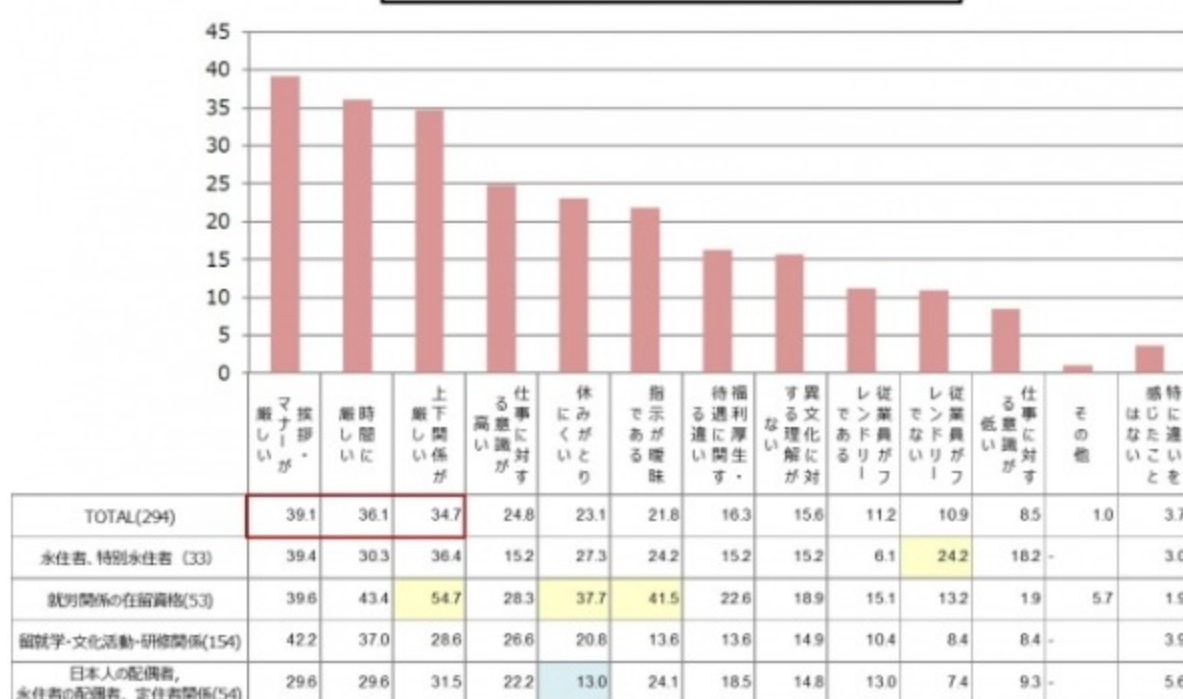
- ・日本で働いてみて感じた母国とのギャップ第1位は、「礼儀・作法が厳しい」
- ・アルバイト探して魅力を感じる条件は、「外国人を歓迎している」が最も多く、外国人が働きやすい環境と待遇面を重視
- ・約4割の在日外国人が、「外国人が勤務可能な求人が少ない、又は限られている」と感じている

【調査結果の概要】

▼日本で働いてみて感じた母国とのギャップ第1位は、「礼儀・作法が厳しい」

在日外国人が日本で働いてみて感じたギャップは、1番目に「挨拶・マナーが厳しい（39.1%）」、それに続き「時間に厳しい（36.1%）」、「上下関係が厳しい（34.7%）」と礼儀作法について答えた人が多かった。日本特有の文化や日本人の生真面目な点が、母国とは違う仕事の厳しさにつながり、ギャップを生んでいるようだ。

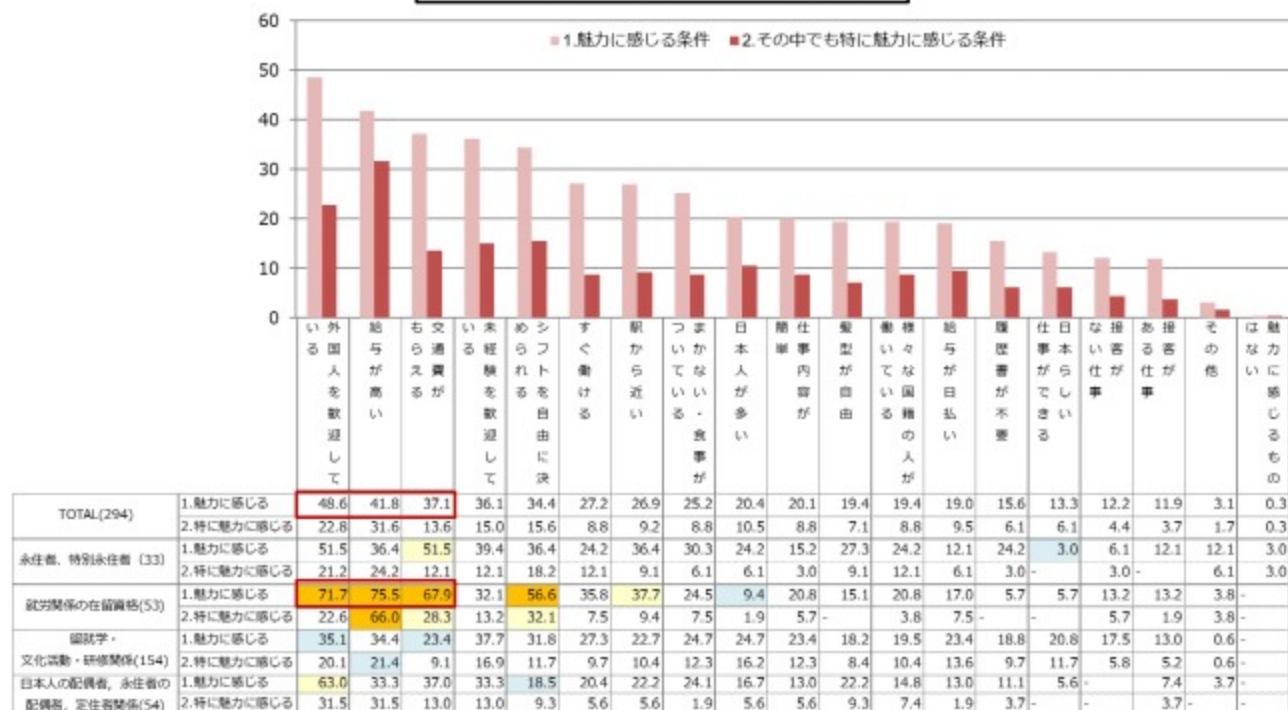
図1. 日本で働いてみて感じた違い



▼アルバイト探して魅力を感じる条件は「外国人を歓迎している」が最も多く、外国人が働きやすい環境と待遇を重視

在日外国人がアルバイトを探す際、魅力を感じる条件として「外国人を歓迎している（48.6%）」が最も高く、次いで「給料が高い（41.8%）」、「交通費がもらえる（37.1%）」という結果となった。特に、就労関係の在留資格を持った外国人は、この3つの条件の数値が約7割と突出して高く、アルバイトを探す上で外国人が働きやすい環境と待遇面を最も重視していることがわかる。

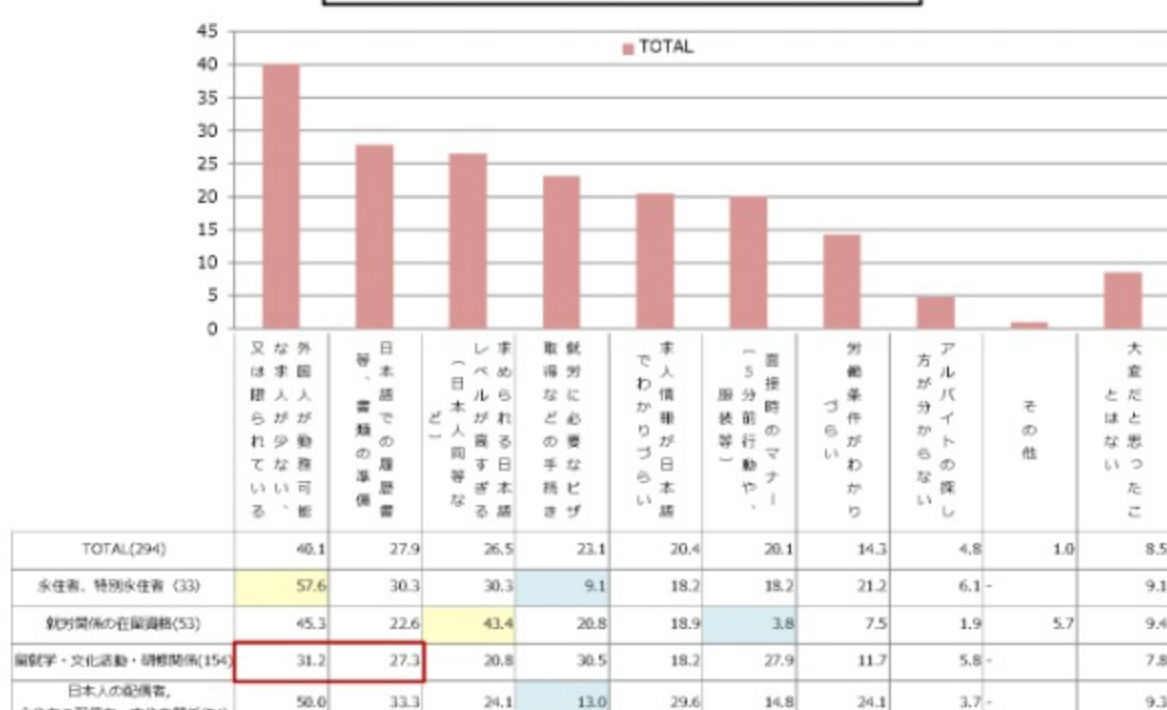
図2. アルバイト探して魅力を感じる条件



▼約4割の在日外国人が、「外国人が勤務可能な求人が少ない、又は限られている」と感じている

日本でアルバイトを探す際に大変だと思うことについて質問すると、「外国人が勤務可能な求人が少ない、又は限られている（40.1%）」が最も高く、日本における外国人アルバイトの受入れ体制に不十分さを感じていることがわかった。2位以降は「日本語での履歴書等、書類の準備（27.9%）」、「求められる日本語レベルが高すぎる（26.5%）」と続き、日本の採用フローと言葉の壁に苦戦していることがうかがえる。

図3. 日本でアルバイトを探す際に大変だと思うこと



マイナビ「在日外国人へのアルバイト意識調査」概要

- 【調査方法】 インターネット調査
- 【調査期間】 2019年3月18日（月）～4月1日（月）
- 【調査対象】 日本でアルバイト経験のある在日外国人／年齢：15歳以上 ※調査時点
- 【有効回答数】 294名

※調査結果の詳細は『ナレビ powered by マイナビバイト』（<https://nalevi.mynavi.jp/>）で公開しています